

登録コード:MH179100 開講年度:2026		授業科目区分	専攻専門科目 必修
科目名	看護方法論 (生活援助技術)【22M以降】 Methodology of Fundamental Nursing I (Basic Care Techniques)		
担当教員	浅野 美礼 他 小林 千世・山口 大輔・上原 文恵		
対象専攻/学年、講義期間、曜日・時限	看護学専攻/1年 後期 火曜・4時限 火曜・5時限 木曜・1時限 木曜・2時限		
単位数、講義室	3単位	保健学科311講義室	遠隔授業科目
信大コンピテンシー	該当		
授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素		授業の達成目標
	MH25カリ・保健・看護, MH23カリ・保健・看護		
	基礎的・専門的な知識と技能 看護専門職者に必要な幅広い教養と基礎的・専門的な知識・技能を修得し、さまざまな状況で活用できる。		看護専門職者に必要な日常生活援助の幅広い教養と基礎的・専門的な知識・技能を修得し、さまざまな状況で活用できる。
	科学的探求力 変化し続ける社会で派生する多様な課題に対して、地域・国際的な視点から、科学的・倫理的・道徳的・創造的に課題に対応していく探究心と、課題克服や目標達成に向けて生涯をかけて取り組む力が身についている。		日常生活援助を学習し、安全・安楽・自立等の多様な課題に対して、科学的・倫理的・道徳的・創造的に課題に対応していく探究心と、課題克服や目標達成に向けて生涯をかけて取り組む必要性を理解する。
授業で学べる「テーマ」	多文化協働、健康長寿		
全学横断特別教育プログラム			
授業概要	日常生活動作を身体の構造や機能との関連から理解し、対象の日常生活動作を安全・安楽・自立の視点で評価する方法を学ぶ。対象の置かれている環境や日常生活動作の状態から必要な援助方法を判断し、対象の個性性と自立を考慮した日常生活を支援する方法、科学的根拠に基づく効果的で、安全・安楽な支援を行う方法を学ぶ。 本科目は、1年次前期で学んだ「解剖学」「生理学」「看護学概論」「コミュニケーション方法論」を前提とし、「コミュニケーション方法論」「症候学」と相補的に学んでいくことになります。2年次に行う「基礎看護学実習」の重要な基礎知識になります。 本授業は担当教員の医療機関における看護師としての実務経験と看護基礎教育における教員としての経験を活かして講義を行います。本授業は男女共同参画に関する内容を含んでいます。		
授業計画	火曜日の4,5限と木曜日の1,2限に開講日の枠で開催しますが、不定期開講のため開講日にご注意ください。 第1回 (9/29) 火 4 講義 オリエンテーション 第2回 (9/29) 火 5 講義 感染 第3回 (10/1) 木 1 講義 環境 第4回 (10/1) 木 2 講義 ベッドメイキング、シーツ交換、寝衣交換 第5回 (10/6) 火 4 講義 体位、体位変換 第6回 (10/6) 火 5 講義 体位、体位変換 第7回 (10/8) 木 1 講義 バイタルサインズ(視診・聴診、意識) 第8回 (10/8) 木 2 講義 バイタルサインズ(体温、呼吸) 第9回 (10/13) 火 4 講義 バイタルサインズ(心拍・脈拍、血圧) 第10回 (10/13) 火 5 講義 移乗・移送 第11回 (10/15) 木 1 演習 シーツ交換、寝衣交換 第12回 (10/15) 木 2 演習 シーツ交換、寝衣交換 第13回 (10/20) 火 4 講義 見取りの看護 第14回 (10/20) 火 5 講義 排泄 第15回 (10/22) 木 1 演習 体位、体位変換 第16回 (10/22) 木 2 演習 体位、体位変換 第17回 (10/27) 火 4 講義 排泄 第18回 (10/27) 火 5 講義 栄養(経口摂取) 第19回 (10/29) 木 1 講義 バイタルサインズの測定 第20回 (10/29) 木 2 講義 バイタルサインズの測定 第21回 (11/5) 木 1 演習 移乗、移送 第22回 (11/5) 木 2 演習 移乗、移送 第23回 (11/10) 火 4 講義 栄養(経皮・経管)(5限の講義はありません) 第24回 (11/12) 木 1 演習 排泄 第25回 (11/12) 木 2 演習 排泄 (11/17) 火 4 基礎看護学実習 オリエンテーション 第26回 (11/17) 火 5 講義 清潔 第27回 (11/19) 木 1 講義 陰部洗浄 第28回 (11/19) 木 2 講義 電法 第29回 (11/24) 火 4 講義 口腔ケア 第30回 (11/24) 火 5 講義 足浴 第31回 (12/1) 火 4 演習 陰部洗浄 第32回 (12/1) 火 5 演習 陰部洗浄 第33回 (12/8) 火 4 講義 洗髪 第34回 (12/8) 火 5 講義 清拭 第35回 (12/15) 火 4 演習 足浴		

授業計画	第36回 (12/15) 火 5 演習 足浴 第37回 (12/22) 火 4 演習 洗髪 第38回 (12/22) 火 5 演習 洗髪 第39回 (1/5) 火 4 演習 清拭 第40回 (1/5) 火 5 演習 清拭 第41回 (1/12) 火 4 筆記試験 第42回 (1/12) 火 5 演習 安静患者の日常生活援助 第43回 (1/19) 火 4 演習 安静患者の日常生活援助 第44回 (1/19) 火 5 演習 安静患者の日常生活援助 第45回 (1/26) 火 4 演習 安静患者の日常生活援助 第46回 (1/26) 火 5 講義 安静患者の日常生活援助、授業アンケート
授業の進め方	・授業の進め方については、第1回の授業において説明します。 ・講義は浅野・小林・山口・上原が、演習は教務補佐員を含む教員全員が担当します。 ・講義の資料はe-ALPSに提示します。授業中使用できるように持参してください。 ・講義を欠席した場合は、演習までに指示された課題の提出を求めます。 ・課題の提出した後 に演習を受けることができます。 ・演習では、看護師役、患者役、観察者の体験を通して日常生活援助技術を学びます。 ・お互いの学びを共有し、患者さんへ提供できる看護技術の習得を目指します。 ・演習後概ね1週間以内に演習後の課題レポートを提出します。 ・演習を欠席した場合は、補講を受けたあとにレポートを提出します。 ・欠席の理由によっては補講の対象とはなりません。 ・補講を受講せずにレポートを提出することはできません。 ・演習は、看護学実習室 で行います。 ・演習では、名札、指定のユニフォームや靴(4月に購入手続き)を着用します。 ・演習の準備と片づけを学生が分担します。 ・演習では、タオルやパジャマなど個人の私物を各自が持参し使用します。 ・演習に必要なディスプレイ手袋など演習内容により別途費用がかかります。 ・演習は事前に告知することなく時間延長する可能性があります。 ・特別に許可された場合を除いて演習終了まで参加する必要があります。 ・演習後の片付けは通常は木曜日の5限に行います。 ・11月17日(火)4限に基礎看護学実習 の説明があります。
テキスト、教材、参考書	テキスト： ・基礎看護技術、基礎看護技術 (医学書院) 参考書： ・看護技術が見える (メディックメディア)
成績評価の方法	・講義および演習の課題提出状況、筆記試験の成績により判断します。 ・評価の配分は、筆記試験80%、演習レポート提出20%の評価を合計して、100点満点で得点を算出します。 ・演習の受講、演習レポート提出の無いものは、成績評価の対象とはなりません。
成績評価の基準	評定については次の評価基準を基本としている。筆記試験と総合得点は、それぞれ60%以上である必要があります。 秀：すべての課題を提出しており、筆記試験、演習レポートの到達度が90%以上の成績である。 優：すべての課題を提出しており、筆記試験、演習レポートの到達度が80%以上の成績である。 良：すべての課題を提出しており、筆記試験、演習レポートの到達度が70%以上の成績である。 可：すべての課題を提出しており、筆記試験、演習レポートの到達度が60%以上の成績である。 不可(D)：未提出の課題があるもしくは、筆記試験、演習レポートの到達度が60%未満の成績である。 不可(F)：未提出の課題があり、筆記試験、演習レポートの到達度が60%未満の成績である。
事前事後学習の内容	事前学習： ・講義、GW、演習に関して、事前課題を提示します。 ・演習までには、手順書を見なくてもケアが実施できるように準備する。 事後学習 ・すべての演習項目において事後課題レポートを演習後1週間以内に提出します。 ・目的の到達度やその理由や課題、演習での体験を通じた学びをまとめます。 本授業の単位修得には、135時間の学習が必要です。 授業時間90時間(2時間×45回)+45時間(自己学習時間1時間×45回)=135時間 上記の時間を考慮して事前・事後学習に取り組んでください。
学生へのメッセージ並びに質問、相談への対応	・演習における技術の到達度を成績の判断資料とするので、演習の事前自己学習を十分に行ってください。 ・グループワークでは、技術の習得を目指して自由・闊達な意見交換を期待します。 ・質問・相談には、担当教員が随時対応します。

学生へのメッセージ並びに質問 ，相談への対応	科目責任者の連絡先： 浅野 美礼 millet@shinshu-u.ac.jp 担当教員のオフィスアワーはHPで確認してください。 小林准教授、山口大輔助教、上原文恵助教も対応します。
---------------------------	--